

天敵と温暖化に追いつめられる

『ライチョウを絶滅から救え』を書いて

児童文学作家 国松 俊英

若い時、熱心に山登りをされた方は多いでしょう。日本アルプスの登山道でライチョウの親子や、岩の上のライチョウに会い、心が慰められ、元気をもらったことがあると思います。日本の高山でひっそりと暮らしてきたライチョウに、いま危機がおとずれています。

今年の初め私は、危機に瀕したライチョウのことと、ライチョウの研究と保護活動に打ちこむ鳥類学者・中村浩志先生のことを書いた子ども向けノンフィクションを出しました。

ライチョウは中部山岳地帯、日本アルプスの高山で標高 2,400 メートル以上のところにすむ鳥です。一年に 3 回、羽の色と模様が変わります。冬はまっ白で、夏のオスは黒っぽい色に、メスは黄色っぽいまだらもようになります。そして秋はくすんだ色になります。

ライチョウは、いまから 2 万年～3 万年前、日本が大陸と地続きだった時に大陸から移ってきました。ところが氷期がおわってしまい、日本列島は大陸と海でへだてられて

しまいました。日本列島の気温はだんだん高くなり、ライチョウは気温の低い寒い場所をさがして移動しました。そして、中部地方の高い山を見つけ、そこで現在まで生活してきました。氷期を生きのびたライチョウは、地球の大きな変化をくぐりぬけてきた貴重な生き物といえます。

日本人は古くから野鳥を心から愛し、敬愛して暮らしてきました。その人と鳥の関わりは、とても豊かで深いものでした。日本には高い山には神がすむという、山岳信仰が古くからあります。ライチョウは高い山にいる鳥ですから、人びとは神のそばにいる鳥として敬い、大切にしてきました。江戸時代にはライチョウは、災難から守ってくれる鳥、カミナリをしずめてくれる鳥として、尊敬されました。ライチョウを描いた神社の護符もあります。

その鳥に、いま危機がおとずれています。いまから約 34 年前、1985 年に発表されたライチョウの生息数は約 3,000 羽でした。しかし 2009 年の中村先生の調査発表では、およそ半分に近い 1,700 羽に減少していました。

ライチョウが数を減らしたいちばんの原因は、敵になる野生動物がふえたことです。キツネ、テン、ハシブトガラス、チョウゲンボウなど、もとは低山にいた動物が高山帯に侵入してきて、ライチョウを捕食するようになりました。最近では、サルもライチョウのひなを捕まえています。また低山にいたシカがふえて、高山帯に侵入してきました。シカたちは高山植物を食べつくし、お花畑を全滅させ、



高山の環境を大きく破壊するようになりました。

もうひとつの大きな危機は「地球温暖化」です。もしこのまま地球の温暖化が進めば、2050年には、陸上の動植物種の15～37%が絶滅してしまうかもしれない、と世界の科学者は警告しています。日本の動植物のなかで、温暖化で真っ先に影響を受けるのはライチョウです。年平均気温が1℃上昇すると、ライチョウがすめる高山帯は154メートル高くなります。いま新潟県の火打山にあるライチョウのなわばりは失われてしまい、3℃上昇すると、御嶽山、乗鞍岳のライチョウは絶滅してしまいます。南アルプスでも、絶滅に近い状態になってしまうのです。温暖化の進行は、まちがいなく日本のライチョウを滅ぼしてしまうでしょう。

* * *

私は大学生の頃、北アルプスライチョウに出会いました。それからは縁がなかったのですが、2009年に開かれた「第10回ライチョウ会議・東京大会」で、再会しました。この大会で私は、ライチョウと日本人の関わりについて研究発表をしてほしい、と依頼されました。その大会に参加して発表をしたことで、高山の環境変化や、温暖化のために危機に瀕していることを詳しく知り、ライチョウに大きな関心を持つようになったのです。そして、中村浩志先生とも知り合い、先生の研究活動と保護の仕事を子どもの本に書きたいと考えるようになったのです。中村先生は、実にエネルギーで、タフで、優秀な鳥類学者です。先生の仕事の大きさと志を子どもたちに伝えら

れたら、と取り組みました。

この本は、小峰書店が新しく刊行をはじめた新しいノンフィクションのシリーズ「いまを変えるチカラ」の2冊目として出ました。1冊目は『モスクへおいでよ』（瀧井宏臣）です。いま、イスラム教は多くの人が関心を持っている宗教です。世界の4人に1人がイスラム教徒だといいますが、「イスラムは怖い」という人も多くいます。作者の瀧井さんはそんな偏見を拭おうと、渋谷区にあるモスク（礼拝所）の案内人である下山茂さんの生き方とイスラム教を書きました。イスラム教徒は、なぜ1日に5回も礼拝するのか、なぜ豚肉を食べないのか？ そんな素朴な疑問にもこの本は答えてくれます。下山さんのイスラム教への熱い思いが伝わってくる作品です。いま子ども向けのノンフィクションがおもしろいです。『ライチョウを絶滅から救え』とともに、イスラム教を書いた本もお勧めします。（会員）

※『ライチョウを絶滅から救え』は、忠生図書館と市民文学館（2冊所蔵、うち1冊は貴重図書扱い）が所蔵しています。国松さんは市内在住の児童文学作家なのに、町田市立図書館で1冊しか所蔵していないとは情けない限りです。ちなみに、『モスクへおいでよ』は、中央、鶴川、鶴川駅前、忠生、さるびあ各館が所蔵しています（手嶋記）。



「鶴川図書館がなくなる！」

—鶴川図書館の存続を求める緊急集会第2弾—

まちだ未来の会 第20回学習会報告 鈴木 真佐世・守谷 信二

鶴川図書館見学(午後1時から2時40分)

2019年2月23日(土)学習会に先立って、鶴川図書館を訪れたことのない方に1時から図書館見学の企画も組みました。世話人を含めて4名の参加でしたが、見学のための資料もいただき、色々なことを改めて確認できました。

蔵書数が2018年4月現在、約50,340冊でその

うち、児童書の割合が約21,200冊(約42%)と多い(鶴川駅前図書館は、約99,000冊の蔵書に対し児童書23,800冊で22%)こと、鶴川駅前図書館と合わせた鶴川地域の貸出数が約50万冊で、市内で2番目であること、リクエスト件数が鶴川図書館45,000件(うちWeb約35,000件)、駅前図書館103,000件(うちWeb81,400件)とやはり市内で2

番目であることがわかりました。鶴川 2 館体制だからこその数字だと思います。一日の来館者数約 665 人、貸出約 604 冊で、大いに利用されていることも感じました。

一方、本を購入する予算は、2014 年度 2,730,000 円に対し 2017 年度で 1197,000 円、1 年間に購入した本は、2014 年度が 2,494 冊に対し、2017 年度は 1,022 冊と大幅に減っている現状も改めて実感しました。

学習会（午後 2 時から 4 時 30 分）

学習会は鶴川市民センター和室で開催いたしました。参加者数は 20 名でしたが、はじめて参加された方も多く、新鮮な雰囲気の学習会でした。

最初に菌田碩哉代表が「会に先立って、鶴川図書館見学会を行い、創立 47 年、団地の真ん中にある知的空間を素晴らしいものと感じた。この図書館の年間運営費は 600 万円という。市の財政において、なにを大事にしていくのか？今のプランは決して熟考されたものではなく、そのあり方を問い直していきたい。」と挨拶。

1. 取組報告

市長あての要望書を第一弾として 2 月 18 日に副市長に面談の上、4234 筆の署名を添えて提出したこと、今後も署名活動を続ける旨を商店会及び公団自治会事務局長の富岡さんより報告。並行して募集中の「鶴川図書館大好きの子供画およびメッセージ」について、配布先と今後の展開（3 月末の商店会のエイサーよさこい祭りで展示、コピーを市長に送付など）について報告後、現在までに集まった絵やメッセージを回覧。図書館が大好き、なくなったら



図書館まつり～エイサーよさこい祭りの期間、商店街に展示された「鶴川図書館大好き」の絵とメッセージ

困るという子どもたちや大人の熱い思いが伝わるメッセージに一同感動しました。

2. もっと知ろう！町田の図書館と鶴川地域（報告：鈴木）

・町田と多摩地域の図書館を比較してみると・・・相互利用の協定を締結している京王線沿線 7 市と比較してみると、貸し出しについては 4 位、図書館費が 6 位。それ以外つまり蔵書数、資料費、図書費は 7 位＝最下位というひどい状況がはっきりした。

・町田市的一般会計、図書館費、図書費の推移・・・この 10 年、一般会計は 1.27 倍と増加しているが、図書館費は微増、図書費は大きく減少、1 館あたりで 0.21 倍、つまり 1/5 に減少していることがわかる。

・町田市立図書館の概要を知ろう・・・各館の概要と利用のされ方等把握。

・鶴川図書館のことを知ろう・・・蔵書回転率も 8 館の中で 4 位。市の HP には、2018 年度の予算は約 600 万円、そのうち、図書購入費が約 120 万円、家賃が約 168 万円。事業の内容として、2018 年度の取り組みに、鶴川図書館の特長をとらえた目標・良い取り組みが書かれているが、これらを実現する方向と図書館をなくす方向とはどう考えても一致しない。

・町田市と鶴川地域の人口の推移を比べてみると・・・鶴川図書館エリアは少子高齢化していると言われるが、2009 年からの 5 年毎の推移を見ると、町田市全体、鶴川地域全体と同じような推移で、微増している。少子高齢化を理由に集約するのはおかしい。

3. 町田市の財政と「町田市5ヵ年計画 17-21」（報告：守谷）

総務省が毎年公表している最新の「平成 28 年度地方公共団体の主要財政指標一覧」を見ると、町田市の財政は多摩地域の各市と比べてほぼ平均値で特に悪い状況ではない。

町田市が5ヵ年計画で出した重点事業プランに金額を書き入れたものを見ていただきたい。突出しているものは、「賑わいのあるまちをつくる」の項目にある鶴川駅前周辺のまちづくりの推進 33.1 億円、南町田駅周辺地区の拠点整備 73.8 億円、文化芸術の拠点施設の整備（工芸美術館）17.6 億円、野

津田公園スポーツの森の整備(プロスポーツなどの大きなスポーツ大会に対応する競技環境と観戦設備)75.3億円、薬師池公園四季の杜の整備25.4億円。

その一方、<行政経営改革プラン>では、「市有財産の戦略的活用」の項目のもと、「公共施設再編」「文化芸術施設のあり方見直し」「自由民権資料館のあり方見直し」「図書館のあり方見直し」「文学館のあり方見直し」「生涯学習センターのあり方見直し」など、ほぼすべての生涯学習や歴史・文化関連施策の「見直し」(整理・縮小)が並んでいる。これらの見直しはすべて「新規」とあり、前期5ヵ年計画にはなかったものである。

図書館の見直し内容として「8箇所ある図書館の再編を推進」「2019年実施準備、2020年実施」と書かれている。

4. 今後の具体的な活動(2つのグループに分かれて話し合い)

テーブル①(9名中初めての参加が半数以上)

・多摩市では当初図書館の削減が提案されたが今中央図書館建設に向かっているとのこと。多摩市の運動を参考にできないか。

・署名は本当に市長に届くのか? 請願が通ったのに、要望書を出すとはどういうことか?

・一旦市が決めたからといってあきらめるわけにはいかない。

・子育て広場の活動などを通じて若いお母さんたちとも話すが、みな鶴川図書館をよく利用している。もしなくすようなことになれば、子どもたちに申し訳ない。

・この問題を身近な人に話して、もっと多くの人に知らせること。マスコミも通じて。

・URはどのように考えているのか。URの情報が知りたい。

・URの提案は必ずしも納得がいくものではない。建て替えも委託でやるような考えもあるようだ。

・行政がいったん決めても、運動によって事態が変わった例がある。教育予算の削減や障がい者の家賃補助など。

テーブル②(11名中4名が初めての参加)

・いかに知らせるか? ⇒商店街に「鶴川図書館を存

続させよう」ののぼり旗を。

・PTAで動くことは難しいが、個人に知らせる。

・請願が通っても、地元のいろいろな意見があるようであり固まっていない。

・市長を支持している人に働きかけてもらう。

・URは無責任で建替え等も民間に丸投げのため、商店を継続していくのが困難で、話し合いは進んでいない。

・団地の買い物困難者に役立つ4人乗りの電動自動車の運行をはじめの予定、図書館の利用もできるようになる。

まとめ(蘭田)

知らせること、広報の必要が出された。地元に関心な中心を作っていければと思う。「市長への手紙」も出しましょう。具体的なことが書かれていれば回答がくることもあります。(情報保護シール付のハガキを用意)

まちだ未来の会第21回学習会

こんなに使える鶴川図書館

日時:4月20日(土)午後2時~4時

会場:鶴川市民センター和室(1)

プログラム:

1. 現在進めている取り組みについて

①3月議会から

②市長への要望書署名活動

③「鶴川図書館大好き」の絵&メッセージ活動

④「市長への手紙」運動

2. みんなで知恵を絞って、鶴川図書館を盛り上げるイベントを考えよう(話し合い)

3. まとめ

☆申し込み:当日直接会場へ(資料代300円)

連絡先:まちだ未来の会 ☎090(4703)8878 蘭田

☎090(1863)5174 鈴木



こんな本み～つけた！(第15回)

『図書館 愛書家の楽園』

アルベルト・マンゲル (著)、野中邦子 (翻訳)

(白水社 2008年、新装版 2018年) 紹介:伊藤 あや



2006年にニューヨークの出版社 Alfred A. Knopf 社から刊行されたハードカバー版「The Library at Night」の翻訳書である。「図書館」というと大きな施設を思い浮かべるかもしれないが「library」が意味するのは図書館だけではない。「複数の本が集まった状態、または場所をさす。また、コンピューターなどのデータをまとめたファイルや、資料室を意味する場合もある。鞆に入った数冊の本も、ロバで運ばれる巡回文庫も、この世のすべての書物を網羅したいという大望を抱いたアレクサンドリア図書館も、フランスの古い司祭館を改造した著者の書斎も、すべてライブラリーである」(訳者のあとがき)とあるように、古今東西の愛書家たちそれぞれのライブラリー＝楽園を紹介する。

書斎は持ち主の思想であり歴史である。個人の書斎はその分類方法も自由だ。本と本とは独自に繋がり、書斎にはその人の人となりがつまっている。

では、公共図書館は。著者は、詩人・学者として名声を博したペトラルカ(1304-1374)がスキアヴォーニ河岸に居を構える条件としてヴェネツィア共和

国の総督に示した、自身の蔵書を基に公費で本を買い足

し個人もそれに倣ってほしい、という願いを国立図書館のはじまりとしている。しかし、700年近い年月を経た現在も国立図書館の機能はどうあるべきかの結論は出ていないという。国家に必要な知識の宝庫？暇つぶしの場所？時代によって、土地によって、利用する人によって図書館の役割は変化する。

「なぜ本を読むのか」という根源的な問いに答えるように、愛書家である著者マンゲルが多くの引用を用いて縦横無尽に楽園の様子を並べ立てていくのを読むと、本が好きな人は思わず心地よく感じるのではないだろうか。本を読むことに「利益」を求めてはいない。そんな当たり前のことを示してくれる。

(町田市民文学館・会員)

*本書は中央図書館と市民文学館が各1冊所蔵。
新装版は所蔵せず。書影は2008年版。

市民向け学習会 「町田の図書館をデザインしよう！」参加報告

日時:2019年2月17日(日)、3月10日(日)

会場:町田市立中央図書館(6階ホール)

学習会に参加して

清水 陽子

昨年度まで利用者懇談会が年に1度開かれていたが、あまりの参加者の少なさに、開催する意味が問われていた。そこで、図書館は拡大版利用者懇談会というコンセプトでこの市民向け学習会を企画したと聞いている。この試みに、高校生から高齢者まで幅広い層の市民が各回20人ほどと、図書館職員が参加した。

2回連続講座として、講師にアカデミック・リソース・ガイド(ARG)代表の岡本真氏を迎え、第1回は「持続可能な図書館のあり方」、第2回は「町田市らしい図書館の未来」をテーマとして、講演とワークショップが行われた。

岡本氏は数々の自治体の図書館のコンサルティングを手掛けられた経験から、社会的背景を踏まえた上で、持続可能な図書館について述べられたが、

岡本氏の著書「未来の図書館、はじめます」にもあるように、市民がどのように図書館に関わるかということがポイントで、市民営図書館の可能性を模索することが必要と考えられている。

グループワークでは ARG 職員がグループに入り、初日は・図書館で何をしたいか・そのためには何が必要か・その必要をみtusために、私たちは何ができるだろうという3点について話し合い、要求や夢ではなく、図書館との関わりを自分の問題としてとらえることにポイントが置かれていた。

2 日目は最初に図書館の江波戸担当課長から 2 月に決定された「町田市立図書館のあり方見直し方針」についての簡単な説明があり、続いて・どんな図書館なら行きたいか・行きたくなる図書館の特徴は？について、岡本氏のワンポイントレクチャーの後話し合われた。

岡本氏は学習会の講評として、人口減少を背景とした社会状況の中で持続可能な図書館を考えた時、役所に依存するのではなく、図書館が大切だと思うのなら、そう思う人を増やし市民の共通の関心事になるまで拮げなければ、変える力にならない。市民自らこのような場を作ってやり続けることが必要と、結ばれた。

2 回とも参加された方は多くはなかったが、図書館へベビユーザーの方から、「図書館は怖いところ」というイメージを持ち、敷居が高いと思っている方まで、様々な方が参加されていて、多様な意見を聞くことは出来た。ただ、考えるべきポイントをその場で理解してもらうのは難しかった気がする。岡本氏の考える公共や自治の考え方を取り入れ、行政と協働していくとすれば、市民はさらに多くを学び、自ら動かなければならないし、行政側も市民の力を活かして、市民の満足度の高い仕事にするためには、柔

軟で誠実な姿勢が不可欠だと感じた。行政はこのような場での市民の意見を脈絡なくつまみ食いのように利用することなく、公と民がお互いを理解し、できる最高の図書館を目指すための有意義な一歩としなければならないと感じた。(会員)

思い切った発言に「風穴？」と期待 久保 礼子

「町田市立図書館のあり方見直し方針」が教育委員会で承認されたばかりのこの機に、図書館が主催となってく図書館が直面する課題にどう向き合っていくのか、市民と行政が共に考える未来志向型の学習会です>と催しが打ち出された。「この機に何を？」と興味津々。すぐに参加申し込みを行い、2回とも学習会に出席した。

“未来志向型の学習会”に図書館が適任として選出した講師は 40 代半ば。氏は各地の図書館の様々な事例を挙げたが、2 回目の学習会で“行きたくなる図書館”の事例の一つに伊万里市民図書館を挙げた。その理由を「市民が徹底的に図書館を使っていこうと思っている。それを支える図書館フレンズ伊万里という体制があり、その常駐スペースがある。持続可能性としてうまくいっている。」と報告。「行きたくなる図書館は、目新しい何かじゃない。」「行政がプロセスを踏んでやっていることは簡単には変わらない。しかし、お互いが知ることが変化につながる。」と、市民が一步を踏み出すことを投げかけた。この期に及んで——と思わなくはないが、このような言葉を発する講師に学習会をゆだねた図書館に“熱い心”を期待したくなった。

締めくくりに、近藤館長は「これまで、これだけいろんな意見を聞かせてもらうことが困難だった。できたら、このような場を続けたいと思います。」と挨拶。この学習会の実りを期待したい私です。(会員)

第 17 期図書館協議会 第 14 回定例会報告(報告者 清水 陽子)

2019 年 2 月 21 日(木)午後 3:00~5:15 中央図書館ホール 傍聴者:なし

【報告事項】《館長報告》

1. 教育委員会 第 11 回 2/1

・「町田市教育プラン 2019-2023」の策定について
(図書館関連部分)

Q:まちライブラリーとの連携とはどのような内容か⇒情報提供や、紹介。個人的には予約資料を渡す施設として考えられないかと思っている。

Q:まちライブラリーは会員制で有料のところもある

ので支援の仕方は考えて。町田市以外の近隣大学との連携を検討しているか。⇒今は考えていない。
意見：現状20か所となっているが、全てが一般利用できるわけではない。市民にわかりやすいマップ(ボランティア派遣、おはなし会開催など様々な情報)であることが肝要。

Q:教育委員からの質問などは。⇒あるべき姿を明らかにしてから進めるべきではないか、集約はどうしても必要かという意見あり。回数を重ねて説明をするうちにご理解いただいた。移動図書館については、台数を減らすことも見直しに入っているかとの質問には、利用が減っているので、今まで行っていなかった場所の検討など考えていると回答。

・「町田市立図書館のあり方見直し方針」の策定について(図書館 HP に PDF 版全文掲載)

https://www.library.city.machida.tokyo.jp/files/attach/files1203_1.pdf

生涯学習審議会の答申を踏まえ方針を策定した。

*「めざす姿(運営の基本方針)」について:答申をそのまま入れた。

*再編検討図書館の方向性:短期(2019~26年度)について:

・鶴川図書館:UR の建替えにあわせて集約する方向。UR の立替が遅れており、スケジュールは載せられなかったが、継続して情報収集し検討を進める。

・さるびあ図書館:独自機能は継続。周辺公共施設の建替え等も視野に入れて検討。

*効率的・効果的なサービスの方向性:「めざす姿」を実現するための具体的なサービスと最適な運営体制について検討、19年度中に効率的効果的な図書館サービスの方向性を決定。

・新しい運営体制の確立:20年度から会計年度任用職員制度を実施。20、21年度は会計年度任用職員と職員の業務を見直した上で、そのまま運営し、19年度に決定する運営体制(直営または民間利用)は22年度から始めたい。会計年度任用職員制度が開始されるにあたっては職員と会計年度任用職員の業務の切り分けをより鮮明にすることが当局から求められているので、直営といっても今と同じということは難しい。運営体制の決定は20年2月の

教育委員会で決定し、3月の議会で報告の予定。

・「町田市民文学館のあり方見直し方針」の策定について

第8 事業及び施設の見直し

2(2)見直しに向けた取組 ①施設については中長期的に複合化など検討②管理運営については効率的効果的な運営手法を取り入れる。

2. 平成31年第1回町田市議会定例会 文教社会常任委員会 2/20 補正予算

3. その他

(1)主任嘱託員試験 3名合格

Q:会計年度職員任用制度が導入された場合、主任嘱託員制度はどうなるのか⇒今と同様に継続するのは難しい。

委員長意見:主任嘱託員は専門職として現場をリードする人なので、継続して働ける環境は大切。

(2)蔵書点検 文学館 1/21 金森、鶴川駅前 2/4~7 さるびあ、忠生 2/12~15

(3)嘱託員選考試験(第1次選考)1/28 71名応募 60名受験 27名合格 (第2次選考)2/14 26人受験 6名合格 欠員補充

(4)町田市子ども読書活動推進計画推進会議 1/29 :18年度前半の取組報告と意見交換

Q:中央図書館のおはなし会は19年度からは土曜日に実施予定。地域館ではどうか⇒まず19年度は中央館で土曜日を試験実施。地域館は各館の状況をふまえて検討。

(5)平成30年度東京都多摩地域公立図書館大会 2/7~8 参加者 362名

(6)学習会「町田市の図書館をデザインしよう!」 2/17、3/10 20名参加(2/17) ARG 代表岡本真氏の講演とワークショップ

持続可能な図書館のあり方:人口減少、高齢社会 公共施設総合管理計画などの解説。

ワークショップ:「図書館で何をしたいか、そのために自分は何ができるか」を考えて発表。

★次回第17期図書館協議会第15回定例会

5月13日(月)午後3時~町田市立中央図書館 中集会室。傍聴自由ですが、休館日のため事前に中央図書館に申し込んでください。

☎042-728-8220



例会 2/26 (火) 報告

- ・16:30～印刷・発送作業等:伊藤・久保・鈴木(真)・手嶋・松下・守谷
- ・18:25～20:20 中央図書館・中集会室
出席:石井・伊藤・久保・鈴木(真)・手嶋・松下・守谷

議題

1. 会報について

(No233):巻頭言(国松俊英さんに依頼⇒確定)、「こんな本見〜つけた!」第15回(伊藤)、まちだ未来の会第20回学習会報告(鈴木(真)・守谷)、図書館協議会第14回定例会報告(清水・山口)、「町田市の図書館をデザインしよう!」報告(久保、清水)

2. 今年度の活動計画について(変更なし)

3. 「町田市5カ年計画17-21」、「町田市公共施設等総合管理計画」等について

まちだ未来の会の取り組み

・学習会

第20回学習会(詳細未定)⇒実施済み(20名参加)⇒「知恵の樹」No233 2~4頁参照。

第21回学習会⇒「知恵の樹」No233 4頁参照。

「すすめる会」の取り組み(変更なし、省略)

4. 学校図書館指導員について

学校司書設置の方向で検討が進んでいる。教育プラン(案)には学校司書が配置されるとあり。4年間で16人とあるがどのように配置されるか不明。⇒現在の指導員はそのままに新たに学校司書を4年かけて16人採用する。学校司書は小・中学校合せて61校(⇒62校に訂正)を巡回する計画。

5. 第8回まちだ図書館まつりについて

「すすめる会」の取り組み

2月14日(木)に久保、増山、岩田さん(野津田・雑木林の会)、今井監督が打ち合わせに参加。

・企画意図の再確認:今、町田市は“賑わいづくり”“経済活性化”に政策が偏向している。この機に、若者や一般市民・幅広い層の人たちに関心を持ってもらえるような内容で、町田の文化に光を当てる企画を取り上げたい。

タイトル/ふるさとって、何ですか?

サブタイトル/子どもの頃にきいた ふるさとの物語

・内容:①基調講演:今井友樹さん(映画監督)。②鼎談:町田で育ち、町田の民話に心を寄せるゲスト2人(田極武さん、石井清文さん)にお願いする予定⇒決定)と今井監督がテーマについて語り合う。③会場の皆さんとトーク。④語り:町田の民話から=まちだ語り手の会⇒菊池とも子さん「薬師池の大蛇」。

報告

1. 町田市立図書館協議会第14回定例会

2月21日(木)開催。図書館の見直し案(概要版)の配布と一通りの説明があり、感想を述べた。市民向け学習会(2/17、3/10)について説明。協議会は8月から新体制となり、年間の開催回数が9回から6回に減ることに。会計年度任用職員制度について。⇒「知恵の樹」No233 6,7頁参照。

2. 市民向け学習会「町田市の図書館をデザインしよう!」

2月17日(日)第1回(持続可能な図書館のあり方)基調講演:岡本真氏(アカデミック・リソース・ガイド株式会社)。4グループに分かれて討議⇒「知恵の樹」No233 5,6頁参照。

3. 団体及び個人からの報告

嘱託労:1月24日(木)、自治労町田市職員労働組合と自治労町田市役所ユニオンと自治労町田市図書館嘱託員労働組合とで会計年度任用職員制度の確立に向けた要求書を提出(回答期限3/14)。

柿の木文庫:3月1日(金)10:00~12:00、講演会<本と語りとトークの会>おはなし:市川純子さん(横浜市立図書館司書)を開催。鶴川地区協議会の鶴川地域活性化事業助成金を活用。

石井:図書館まつり(さるびあ図書館)で「大人のためのレファレンス講座(言葉を調べる)」を担当。

《編集後記》図書館友の会全国連絡会は、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律案」(第9次地方分権一括法案)に係る要望書を提出した。①公立図書館の所管を首長部局に移管できることを可能にしないこと、②そのための図書館法の改正をしないこと、③図書館は「教育機関」であることから、教育委員会の責任で設置し、直接、管理運営される図書館であることを求めている。生涯学習の拠点である図書館は、介入や干渉に左右されてはならない。(T2)